***2022年度「研究開発型スタートアップ支援事業／***

***NEDO TCP（Technology Commercialization Program）2022」***

***書面審査申請書作成にあたって***

***総括的注意***

***注1．申請書の項目を削除しないで下さい。（ただし、本ページ及び次ページ以降青字イタリック体で記入されている申請書の注意事項及び記載例は、削除して下さい）***

***注2．各項目の枠の大きさは自由に調整可です。また、必要に応じて図表等を用いて分かりやすく説明して下さい。***

***注3．記入に際しては、簡潔明瞭を旨とし、申請書のボリュームが大きくならないよう配慮して下さい。***

***注4．記入内容は審査の目的のみに用い一般に公開されることはありませんが、特許出願前の技術の情報など秘匿する必要がある情報については、絶対に記載しないでください。***

　***注5．申請書の作成にあたり記入上の注意（イタリック体部分）をよく読んで下さい。また、各項目の記入上のポイントにはアンダーラインを付けていますので、これに沿って申請書を作成して下さい。***

***注6．申請書の作成にあたり、公募要領を必ず確認して下さい。申請書の記入内容について注意事項があります。***

***（提出にあたって、本ページは削除して下さい）***

（様式第１）

2022年度「研究開発型スタートアップ支援事業／

NEDO TCP（Technology Commercialization Program）2022」　書面審査申請書

|  |  |
| --- | --- |
| メンバー氏名（ふりがな）【適宜増減してください】 | 　　　　　　　（　　　　　　　　　　）役割：代表　　　　　　　（　　　　　　　　　　）役割：　　　　　　　（　　　　　　　　　　）役割： |
| チーム名（予定会社名） |  |
| 2022年6月20日時点で自身の会社を設立していない（□はい　□いいえ：登記済）*※本プログラムは、公募開始時に起業していない個人、研究者または研究チームが対象です。*学生チームである（□はい　□いいえ）添削を希望する（□はい　□いいえ）*※希望する場合は****8月19日（金）9:00****までに申請書をご提出ください。* |
| 事業プラン名 |  |
| 事業概要 |
| ***＜事業構想ワンシート説明＞******事業プラン名や事業概要は、事業の内容を簡潔に示すだけでなく、事業の魅力や意義が読み手に伝わるよう、表現の仕方を最大限工夫してください。****例）ＸＸＸＸＸＸＸＸという大きな課題がある。**我々はＸＸＸＸＸＸＸＸによって、当該課題を解決する。**顧客は、ＸＸＸＸＸＸＸＸという理由で、当該サービスを利用（購入）する。**加えて、我々は競合他社よりＸＸＸＸＸＸという理由により、より優位にビジネスを展開する。**本事業プランでは、△年後に売上高XXX億円、利益XX億円を上げることを計画している。**※エントリーシート（1ページ目）記入上の注意など** *このページは事業のエッセンスを示すものです。****1ページ以内****に収めてください。（多忙な投資家に対して、簡潔な記述でご自身の事業を印象付け、投資家が詳細内容を読みたくなるような企画書を書くトレーニングを兼ねます。）青色の注意書きは提出時に削除して下さい。詳細内容は、次のページ以降に記載してください。*
* *選択式の項目については、該当する選択肢の□を■に書き換えてください*
* *技術分野は複数選択可ですが、なるべく絞って選んでください。*
* ***チーム名、事業プラン名はウェブページ等で公開する場合がございます****のでご留意下さい。*
 |
| 技術分野 | □環境・エネルギー　□電子・情報通信　□ライフサイエンス　□ロボティクス□材料・ナノテクノロジー　□航空・宇宙　□その他（　　　　　　　　　　　　　　） |
| 技術シーズは大学や公的研究機関発祥か？ | □はい（機関名：　　　　　　　　　　）　□いいえ |
| 事務局使用欄： |

|  |
| --- |
| 解決すべき課題／市場ニーズ（背景）【必須】 |
| *＊本事業の背景となる解決すべき課題や顧客やユーザーが有するニーズ（いずれも具体的に調査したものが望ましい）について記載してください。当該課題解決の重要性についても記載して下さい。* |
| 提供する技術、サービス、商品（具体的アプリケーション）と提供対象【必須】 |
| *＊技術シーズを元に、誰に対してどのようなサービスや商品を提供するのか、提供する技術、サービス、商品を通じて課題やニーズがどう解決されるのかを具体的に記載してください。* |
| 技術シーズの概要【必須】 |
| *＊本事業の基盤となる技術シーズの概要と現時点での成熟度（ラボレベル、試作段階（プロトタイプ）、製品化段階など）を記載してください。本項目では専門用語をなるべく避け、多くの人が理解できる内容としてください。* |
| 技術の詳細【必須】 |
| *＊読み手に当該分野の前提知識があるとして、技術シーズの特徴をより詳しく記載してください。* |
| チームメンバーの経歴【必須】 |
| *＊チームメンバーのバックグラウンド（経歴）や能力が事業の強み（優位性）になる場合、その内容を記載してください。* |

|  |
| --- |
| ターゲット顧客【任意】 |
| *＊提供する技術、サービス、商品に対して、実際にお金を払う顧客をなるべく具体的に（例えば企業向けであればターゲット企業の業種、企業規模等の属性やターゲットとなり得る顧客数の見込み等を含めて）記載して下さい。また、その顧客がなぜお金を払うのかを記載してください。**＊そのターゲットを狙った場合に市場規模はどの程度になるかについて記載して下さい。* |
| 類似技術の評価（競合の状況）【任意】 |
| *＊提供する技術、サービス、商品の先行事例や類似技術について、その状況を記載してください。直接的な競合だけではなく、課題の解決やニーズの充足が期待できる別の方法（間接的な競合）についても、可能な限り記載してください。* |
| 事業の優位性【任意】 |
| *＊本事業で提供する技術、サービス、商品が競合と比較して優れているポイント、あるいは競合が抱える課題（要求スペック・価格等）を記載し、いかに市場での競争に勝っていくのかを記載してください。* |
| 利益モデル【任意】 |
| *＊本事業における、顧客、エンドユーザーを含むステークホルダー（ビジネス上の関係者。たとえば、原料調達先や外部委託先、代理店など）を整理し、お金の流れを記載してください。また各ステークホルダーとすでに関係性がある場合は、記載可能な範囲でその程度を具体的に記載してください。* |
| 事業化プロセス【任意】 |
| *＊黒字転化する時期までを目途として、資金計画や人員計画、リソースの調達など、事業化に向けたアクションを記載してください。* |

|  |
| --- |
| 事業における課題【任意】 |
| *＊現時点から事業の立ち上げにあたって、充足されていない要素（課題）を記載してください。* |
| 事業課題の解決方法【任意】 |
| *＊上記の事業における課題を解決するために必要なリソース（資金、設備、人員、アライアンス先、など）を記載してください。アライアンス先であれば実際の企業名など、なるべく具体的に記載してください。* |
| 知的財産の状況・知財戦略【任意】 |
| *＊技術シーズおよびその周辺技術について、知的財産に関する権利の保有者（個人、研究室、企業との共同保有など）あるいは権利化に向けた取り組み（名称、出願番号・出願日、出願人などと明細書(要約可）)があれば記載してください。企業との共同研究などがある場合は、可能な限りその旨を記載してください。**＊IP（特許）を独占的に保有する為に立てている戦略があれば記入してください。**＊その他ノウハウ創出、維持やブランド戦略など、競争力を維持できる戦略と効果について記載ください。* |
| 研究開発及び事業遂行の体制等【任意】 |
| *＊研究及び事業を遂行する体制（役割分担）を具体的に記入ください。また、共同研究先等がある場合は、相手先とのそれぞれの役割が分かるように記入ください。また、事業会社等との連携がある場合は、事業展開についても記載ください。* 　　　　　　　　　　　　　　　　　　名前役割名前役割名前役割 |
| 資金計画【任意】 |
| *＊当該事業プランを実現する上での資金調達の予定を具体的に記入ください。また、エグジット（株式上場、事業・会社売却等）をする予定であれば、それに向けた予定を記入ください。* |
| 本事業を始めるきっかけ・動機【任意】 |
| *＊事業化を目指した背景について記入してください。* |

*※事業プランシート記入上の注意*

* *提出時に青色文字の各項目の説明文および本注意書きは削除して下さい。項目の名前は変更しないでください。*
* *事業プランシート内****【必須】項目は必ず記入ください****。また、【任意】項目については空欄のままでも提出可能ですが、****分かる範囲で出来る限り記載するように努力して下さい****。*
* *各項目の枠の大きさは自由に調整可です。また、必要に応じて図表等を用いて分かりやすく説明して下さい。ただし、****冒頭のエントリーシート（事業概要、1枚）と事業プランシートの合計で8枚までに収めてください****。*
* *記入内容は審査の目的のみに用い一般に公開されることはありませんが、****特許出願前の技術の情報など秘匿する必要がある情報については、絶対に記載しないでください****。*

|  |
| --- |
| プレゼンテーション（審査会）時に撮影・録画した写真・映像は、本プログラムのPR等の目的で公開される場合があります。希望しない場合は、下記にチェック願います。 |
| □撮影した写真及び録画した映像の公開を希望しない。 |

*公開希望の有無は、審査には一切関係いたしません。*

*（なお、応募フォームＡ（Word）、応募フォームＢ（Excel）は非公開です。）*